

日時

2022年9月13日(火)16:00-18:30

第3回

バイオバンク オープンフォーラム

会場

オンライン配信

オンライン会議アプリ『Zoom』を使用

事前に申し込みフォームへアクセスし、参加登録をお願いします。
ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

参加費
無料

バイオバンク と参加

登録締め切り

2022年9月12日(月)まで



〈申し込みフォームはこちらから〉

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_e0s0U5z7Tvq_4x_ksyxn-A

日本各地でバイオバンクの構築が進み、その利活用に注目が集まりそのあり方についての議論が行われています。

バイオバンクは多くの参加者があって初めて成り立つものであり、多くの方々から検体・情報の提供が進んで行われることが構築の礎であり、また発展に必須のことです。

バイオバンクへ参加することを、バンク側からどのように促すべきなのか、また、参加者に対してどのようなことを示せばいいのか、第三者にあたる関係機関の役割は何か、バンク試料・情報を利活用する側としては何ができるのか、また、患者あるいは一般住民の参加者は何を求めているのか、そして参加者自身はどのように感じているのかなど、多角的な議論を行う場をつくります。

プログラム

話題提供

16:00～ 開会・趣旨説明

16:10～ “バイオバンク構築と参加”

地域住民型バイオバンクの運営者から
地域住民参加型バイオバンクの維持・継続について
岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構
臨床研究・疫学研究部門 部門長 丹野 高三

バイオバンクの構築と患者さんの参画～
大学病院での経験から

診療機関併設型バイオバンクの運営者から
筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター部長
筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 教授 西山 博之

16:35～ “バイオバンクへの参加～患者・家族の立場から”

読売新聞東京本社医療部 編集委員 本田 麻由美
心を守る会 会長 國子 克雄
特定非営利活動法人ASrid 理事長 西村 由希子
MYSTARJAPAN (マイスター・ジャパン) 代表 能勢 謙介

17:25～ “バイオバンクと参加～一般住民の立場から”

一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ

17:35～ “医師・研究者として参加を促し利活用する”

バイオバンクの利活用による成果と国民への還元事例の紹介
国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所
感染病態研究部 テニュアトラック部長 杉山 真也

バイオバンクへの参加を促し研究成果を得る：
難聴の遺伝子解析の経験から
信州大学医学部 特任講師 西尾 信哉

17:55～ “バンク利用者の立場から”

18:05～ ディスカッション

18:20～ まとめと閉会

終了後、参加者を交えた振り返りの会を開催します



主催・お問合せ先



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
AMEDゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム)
「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援に関する研究開発」による
[Mail] contact@biobank-network.jp [Web] <https://www.biobank-network.jp>

協賛



国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)